

学校評価アンケート結果について

真弓小学校では、「確かな力と豊かな心を持ち、新しい時代を自分らしく生きる人間の育成」を目指し、以下の4つの重点課題を中心に、日々の教育活動に取り組んでいます。

- ① 伝え合う力～あいさつを基本方針として～
- ② あたたかい心～規範意識の向上と豊かな人間性～
- ③ 考える力～基礎基本の充実と柔軟な発想力～
- ④ 体力づくりの推進～休み時間と体育学習を生かして～



3学期に入り、学校では来年度に向けての総括を行っているところです。その中の取り組みの一つとして、学校教育法および学校教育法施行規則に準じて学校長が確認したい以下の5項目について、教職員が自己評価を行っています。

(確認した5項目)

- ① 子どもたちは、学校のきまりやルールを守ることができましたか。
- ② 子どもたちは、自ら進んであいさつを行うことができましたか。
- ③ 子どもたちは、優しく思いやりのある言葉を使って生活することができましたか。
- ④ 子どもたちは、体育や休み時間に体を動かすことを楽しむことができましたか。
- ⑤ 子どもたちは、楽しく学習することができましたか。



そして、児童と保護者にアンケートを実施し、その結果を比較することで、自分たちの評価と児童及び保護者との回答に差異はないかの確認を行いました。
その結果を紹介します。

質問①～⑤をまとめて、

※()はR6年度の数値

学校の目指す子ども像に近づいているか。

そう思う

だいたいそう思う

79%(84)

教職員

あまりそう思わない

そう思わない

21%(16)

そう思う

だいたいそう思う

87%(87)

子ども

あまりそう思わない

そう思わない

12%(12)

そう思う

だいたいそう思う

81%(86)

保護者

あまりそう思わない

そう思わない

19%(14)

今回の質問は、「あいさつできましたか」「きまりは守れましたか」など、学校が目指している子ども像にどれだけ近づいているかを確認する質問になっています。また、保護者の方には、R6年度は学校の様子を聞きましたが、R7年度はご家庭の様子を聞いています。学校の取り組みが、各ご家庭にどれくらい反映しているかを確認するため、質問内容を変えました。

学校の目指す子ども像に近づいていると感じている教職員が減少していますが、子どもたちはR6年度と同じく、約90%が頑張っていると回答しています。先生方は子どもたちを評価し、褒めてあげてほしいと思います。学校で子どもたちを誉める場面は多く見かけていますが、引き続きもっと子どもたちの頑張りを評価するよう努めてきたいと考えています。

質問①

※()はR6年度の数値

子どもたちは、学校(家庭)のきまりやルールを守ることができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
83%(78)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
17%(22)



そう思う
だいたいそう思う
93%(93)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
7%(7)



そう思う
だいたいそう思う
91%(98)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
9%(1)

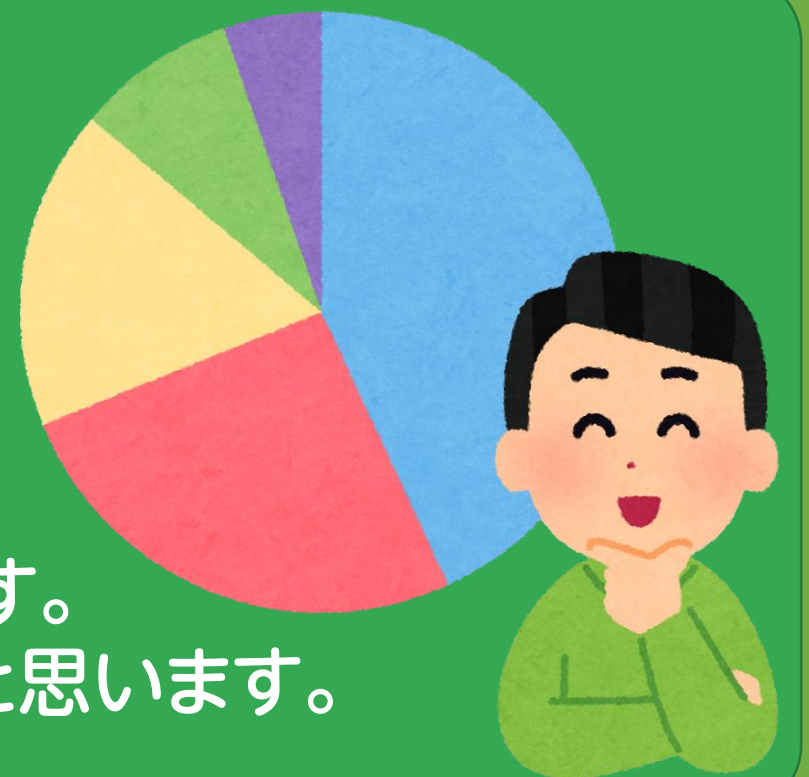


教職員の評価があがっています。規範意識に対する取組を行うことができたと思われます。

子どもたちは昨年同様、90%を超える子どもが、頑張れたと思っています。これからも褒めてあげたいと思います。

保護者のポイントが下がっているのは、家庭での様子を聞いたため、昨年との違いが表れています。

家庭でもルールが守れるよう指導していきたいと思います。



質問②

※()はR6年度の数値

子どもたちは、自ら進んであいさつを行うことができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

38%(56)



教職員

あまりそう思わない

そう思わない

62%(43)



そう思う

だいたいそう思う

84%(86)



子ども

あまりそう思わない

そう思わない

16%(13)



そう思う

だいたいそう思う

82%(73)

保護者

あまりそう思わない

そう思わない

18%(26)



質問②の結果から、教職員のポイントが大きく下がっていることがわかります。聞いてみたところ、あいさつはできているが、「自ら進んで」といわれると、そこまでの指導ができなかったという声がたくさん聞かれました。保護者についてはR6とは違い、ご家庭での様子を聞きましたが、ポイントは上がっています。質問の仕方も考えながら、教職員との差異を小さくできるよう、引き続き子どもたちを認めるということを意識して取り組んでいきたいと思います。

質問③

※()はR6年度の数値

子どもたちは、優しく思いやりのある言葉を使って生活することができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
79% (87)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
21% (13)

そう思う
だいたいそう思う
88% (86)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
12% (13)

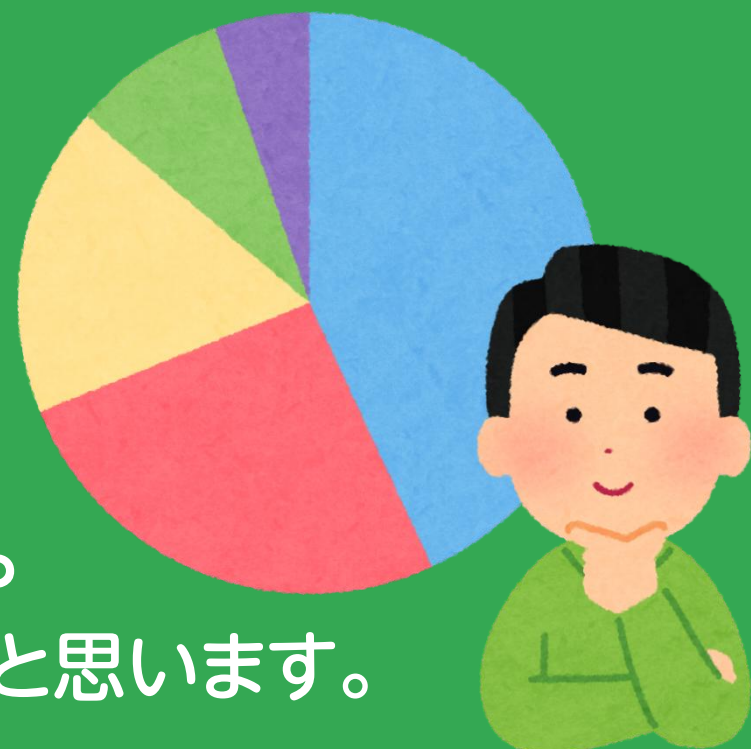
そう思う
だいたいそう思う
89% (85)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
11% (15)

質問③の結果は、教職員のポイントが子どもや保護者のポイントと比べると下がっている傾向が見られました。R7年度は、子どもたちの様子と、教職員自身の取り組みが混ざってしまったことで、評価しづらかったのかもしれませんが。

しかし、この結果を振り返り、子どもたちの思いや保護者の思いに近づけるよう取り組んでいきたいと思います。



質問④

※()はR6年度の数値

子どもたちは、体育や休み時間に(ご家庭で)体を動かすことを楽しむことができましたか。

そう思う
だいたいそう思う
96% (100)

教職員

あまりそう思わない
そう思わない
4% (0)



そう思う
だいたいそう思う
87% (84)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
12% (15)



そう思う
だいたいそう思う
79% (84)

保護者

あまりそう思わない
そう思わない
21% (16)

質問④の結果から、学校生活では、教職員も子どもたちもいつも外に出て元気よく遊んでいた、そして体育の時間も運動を楽しむことができたと感じています。

R7年度は、保護者の方には家庭での子どもたちの様子を聞いていますが、学年別にみると3年生ぐらいから、家庭での外遊びが減ってくる傾向が見られました。学校で体を動かすことがこれからも大切になってくることがわかります。



質問⑤

※()はR6年度の数値

子どもたちは、楽しく学習することができましたか。

そう思う

だいたいそう思う

100% (100)

教職員

あまりそう思わない

そう思わない

0% (0)

そう思う

だいたいそう思う

84% (86)

子ども

あまりそう思わない

そう思わない

15% (14)

そう思う

だいたいそう思う

64% (91)

保護者

あまりそう思わない

そう思わない

36% (9)

質問⑤は、子どもたちが楽しく学習しているかを聞いています。

学校では教職員は100%、子どもたちは84%が楽しく勉強していると回答しています。コロナ以降子どもたちが楽しいと思える授業づくりを目指して取り組んでいます。100%はできすぎかもしれませんが、それだけ意識していることがわかります。

保護者には、家庭の様子を聞きましたが、楽しくはないかもしれないが、しっかり勉強しているという意見がありました。



子どもたちへの質問

学校は、楽しいですか。

そう思う
だいたいそう思う
90% (87)

子ども

あまりそう思わない
そう思わない
10% (13)



この質問は、子どもたちにだけ回答してもらった質問です。

R7年度は、90%の子どもたちが「学校は楽しい」と思ってくれています。学びの形も様々で、子どもたちの学び方の選択肢が広がっている中で、学校が楽しい場になっていることは、大変うれしいことです。

この子どもたちの思いにしっかり答えることができるように、これからも教職員一同、100%を目指して頑張ります。

R6年度から、ゲストティーチャーによる授業を講師先生の上承のもと、自由に参観できるようにしています。教師の授業だけでなく、社会で活躍されている方々のお話を聞くことで、子どもたちの将来の夢につながればと思っています。

また、その様子を保護者の方々にも参観していただき、地域とともに学び育てる学校づくりの様子を見ていただければと思っています。

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

